

広島県福山市にあるホロコースト記念館を訪れました。第2次世界大戦中、ヒトラー政権下のドイツでは大量のユダヤ人が虐殺され、その犠牲者の一人であるアンネ・フランク（「アンネの日記」の著者）の父の願いを受けて、1995年にこの記念館が開館されました。

ホロコースト（ナチスによる大虐殺）に出会い、現地を何度も訪ね、人生観が変わったというボランティアの方からの説明を受けながら、館内を見て回りました。

壁と有刺鉄線に囲まれたゲットー（ユダヤ人が強制的に住まわされた居住区）に押し込まれたユダヤ人、逃げ惑うユダヤ人、道端に転がった死体、アウシュビッツ強制収容所に向かう列車、ガスのシャワー室などの写真。今まで学んできた歴史上の出来事が、遠い話ではなく目の前に迫ってきます。

何人もの人が着たであろう囚人服、子どもの小さな靴、ブリキの食器、実際に使われていた物が手の届くところにあります。私は息苦しく大きく深呼吸をしながら、何度も立ち止まりました。強制収容

所に送られるまでの2年間を隠れ家で過ごしたアンネは、どんな思いで日記を書いていたのでしょうか。幸せな時のアンネの笑顔が涙でかすみま

最後の展示室には、筒に入った150万個のピースが置かれていました。色とりどりのピースは外から差し込む光でキラッと輝きます。しかし、それは殺された子どもたちの数でした。小さな筒に入っているピースは、閉ざされた人生を悲しむようにぎっしりと詰まっています。

人間は、かくも残酷で愚かなものなのでしょうか。ただユダヤ人というだけで殺された600万人の命、これが戦争なのでしょいか。これが国を守ることでないのでしょうか。どんなに考えても答えは返ってきません。今、日本は平和ですが、しかし、世界中で争いは後を絶たず、戦渦に巻き込まれ命を落とす人、飢えに苦しむ人、未来が見えない子どもたちは数えきれません。

今年の世界人権宣言60周年です。人は生きる権利、自由に安全に生きる権利があるのです。痛めつける権利は誰にもありません。

## ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

### ■まごころ銀行へ

▽長井康行（高田）▽高橋トミ子（北条）▽村上モモ代（三芳）▽大塚敏雄（新市）▽一色宣征（周布）▽久米福美（広江）▽長井晴美（三芳）▽武本 均（高田）▽徳増善久（石田）▽カラオケ喫茶チャオ 友の会▽西部地域交流センター染色教室▽三芳地区民生児童委員協議会▽高砂演歌クラブ▽国興産業㈱

### ■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）▽散髪 伊藤泰博（明神木）▽新聞 芥川秀人（神拝甲）▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）▽歌・踊り・ゲーム・現金 西条校区婦人会▽歌・クイズ 徳増幾次郎（天神）

### ■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

### ■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽カラオケ カラオケ喫茶寿々▽半日喫茶 川東ともしび会母親クラブ

## 赤十字募金へのご協力 ありがとうございました

赤十字募金（赤十字社員増強運動）が5月1日から全国一斉に展開されました。市内でも多くの方にご協力をいただき、6月12日現在で14,875,446円の募金が寄せられました。皆さまのご協力ありがとうございました。

寄せられた募金は、赤十字の国際救援活動、災害救助活動、血液事業など幅広い事業で活用され、市内では救急法の講習、火災などの被災者への援助物資や見舞金などに活用されます。

今後とも赤十字の活動資金に、一人でも多くの皆さまのご協力をよろしくお願いします。

- 問合せ ○市庁舎別館社会福祉課 総務福祉係  
TEL0897-52-1288  
○各総合支所市民福祉課 福祉係

## 西條藩ゆかりの刀剣が寄贈されました

6月21日(土)に、兵庫県在住の小寺幸子さんから郷土資料として有効に活用してほしいとの趣旨で、西条市に刀剣が寄贈されました。

この刀は永禄3（1560）年、備州の長船祐定の作で、江戸時代後期に西條藩士であった小寺さんの先祖が藩主松平侯から賜ったという由緒ある物であり、今後は西条郷土博物館で保管し、展示を行う予定です。

